

平成29年度保護者アンケート調査の結果

平成29年9月

志學館大学事務局総務課
志學館大学 I R室

保護者アンケートアンケート調査の結果

1. 目的

志學館大学では、本学の教育課程や教育手法等の改善を図るために、保護者の満足度及び本学への要望等を聴くこととし、保護者を対象としたアンケート調査を実施した。

2. アンケート調査方法

アンケートの内容： 目的に従い、アンケートは、被保護者学生及び回答者の属性に関する問に続いて、大学・学部についての満足度、本学が今後充実すべき点、本学の情報発信、保護者として被保護者に学生生活の中で力を入れてほしいこと、身近に4年制大学への希望者がいる場合本学を勧めたいかについての選択肢型の問、及び教育内容等に対する意見・要望等に関する自由記述型の問の6部で構成した。いくつかの問はさらに枝問に分けて問うた。

アンケート調査の対象者： アンケート調査は、平成29年5月27日に開催された志學館大学後援会総会で、アンケート用紙を配布、無記名での回答をお願いし、会終了後に回収箱に入れて貰う方法で行った。

3. 結果の分析

回答者の属性等： 回答は計84名から得られ、後援会総会参加者100名のうち、84%であった。回答者の被保護者の所属学部別の数は、人間関係学部がやや多く、両学部の収容定員の比に近いものであったので、両学部について満遍なく回答が得られたと考える。学年別ではほぼ半分が1年生の保護者で、母親による回答が多かった。

結果の記載法： 問に対し随所に無回答があったので、択一式の問の場合でも、以下の表中の小計は回答総数より少ない場合がある。また、学部別、学年別の集計では、これらの区分が不明のものがあったので、区分別の数値の合計は、全資料の集計より少ない場合がある。以下の記述で、「法学部の学生の保護者は」、「1年生の保護者は」等と書くべきところは、簡単のためにすべて「法学部では」、「1年生では」等と記した。

表1 アンケート調査回答者の属性（択一回答）

回答者区分		回答数	割合	
学生	学部	人間関係学部	44	0.52
		法学部	39	0.46
	学年	1年	39	0.46
		2年	11	0.13
		3年	16	0.19
		4年	13	0.15
		4年生・2年生	1	0.01
回答者		父親	16	0.19
		母親	65	0.77
		両親	3	0.04

3. 1 現時点で保護者としてどの程度満足していますか

上記の問に対して、大学全体では「満足」と「やや満足」を合わせて 54%であった。学年別では、1年生で 44%、2年生以上では「分からない」と「普通」が減り、67%と満足度が高まった。学部別では、人間関係学部では 59%、法学部では 47%が「満足」又は「やや満足」であった。

表2 大学に対する保護者の満足度（択一回答）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
満足	12	16	28	0.33
やや満足	5	10	18	0.21
普通	14	11	26	0.31
やや不満足	1	0	1	0.01
不満足	0	0	0	0.00
分からない	7	2	9	0.11
合計	39	39	82	1.00

表3 学部に対する保護者の満足度（択一回答）

回答項目	人関	法学	合計	割合
満足	15	13	28	0.33
やや満足	11	5	16	0.19
普通	9	17	26	0.31
やや不満足	1	0	1	0.01
不満足	0	0	0	0.00
分からない	8	3	11	0.13
合計	44	38	82	1.00

3. 2 本学が今後さらに充実すべき点は何だと考えますか

回答者中の約半数が、「就職支援」、「専門性を高める教育」、「教養を高める教育」の3項目を挙げた。「スポーツ活動」、「研究活動」、「広報活動」、「施設・設備」は少なかった。

両学部の比較では、人間関係学部で、上記3項目と同じ程度に「英語力を高める教育」が挙げ

表4 本学が充実すべき点（学部別集計、複数回答可）

回答項目	人関	法学	合計	割合
就職支援	31	22	53	0.63
教養を高めるための教育	21	15	39	0.46
専門性を高めるための教育	22	18	41	0.49
英語力を高めるための教育	18	7	25	0.30
キャリア教育	11	10	21	0.25
国際交流活動	7	9	16	0.19
コンピュータ能力を高めるための教育	8	9	18	0.21
学生生活に対する支援（奨学金・サークル活動等）	10	11	21	0.25
大学のスポーツ活動	2	5	7	0.08
公開講座等の生涯学習教育	9	4	13	0.15
広報活動	4	4	8	0.10
教育の研究活動	5	2	7	0.08
施設・設備	5	4	9	0.11
合計	153	120	278	

られた点が特徴的で、これに加えて、「公開講座等の生涯学習教育」、「研究活動」が相対的に多かった。法学部で、「スポーツ活動」が相対的に多かった。

学年別では、「教養を高める教育」、「専門性を高める教育」、「学生生活に対する支援（奨学金・サークル活動等）」は、1年生に比べ2年生以上で増加する傾向があった。逆に、「就職支援」、「英語力を高める教育」、「スポーツ活動」は、2年生以上で減少する傾向があった。

表5 本学が充実すべき点（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	
就職支援	27	23	53	0.63
教養を高めるための教育	15	19	39	0.46
専門性を高めるための教育	17	22	41	0.49
英語力を高めるための教育	14	9	25	0.30
キャリア教育	11	10	21	0.25
国際交流活動	8	8	16	0.19
コンピュータ能力を高めるための教育	9	8	18	0.21
学生生活に対する支援（奨学金・サークル活動等）	8	13	21	0.25
大学のスポーツ活動	5	2	7	0.08
公開講座等の生涯学習教育	5	8	13	0.15
広報活動	4	4	8	0.10
教育の研究活動	3	4	7	0.08
施設・設備	3	5	9	0.11
合計	129	135	278	1.00

3.3 本学の情報発信について伺います

本学からの情報提供に満足していますか： この間に対して、大学全体については、「満足」と「やや満足」を合わせて33%で、半数に達しなかった。学年別では、2年生以上では43%と上昇し、在学中に満足して貰えるようになる傾向があった。

表6 本学の情報発信に対する保護者の満足度（択一回答）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
満足	7	10	17	0.20
やや満足	3	7	11	0.13
普通	18	16	36	0.43
やや不満足	1	4	5	0.06
不満足	0	1	1	0.01
分からない	9	2	11	0.13
合計	38	40	81	

どのような種類の情報をもっと発信すればよいでしょうか： 「就職に関する情報」が64%で特に多く、次いで「教育内容に関する情報」、「学習成果に関する情報」が多かった。「大学の経営状況に関する情報」を求めたものはごく少なかった。学年別では、1年生に比べ2年生以上では、「教育内容に関する情報」が増加し、「就職に関する情報」が低下した。その他の自由記述で、「ホームページをまめに更新してほしい」、「授業出欠情報」との記載があった。

表7 本学が発信すべき情報（学年別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
就職に関する情報	29	23	54	0.64
学習成果に関する情報	13	14	27	0.32
教育内容に関する情報	13	18	33	0.39
大学全般に関する情報	11	9	21	0.25
経済的支援に関する情報	7	7	15	0.18
大学の経営状況に関する情報	1	1	2	0.02
サークル・学生活動に関する情報	7	8	15	0.18
その他	1	2	3	0.04
合計	82	82	170	

3. 3 保護者としてお子様に学生生活の中で力を入れてほしいことは何ですか

勉強全般について： 「社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強」、「幅広い教養を身につける勉強」、「学部の専門的な勉強」がすべて50%以上で高く、「ゼミや卒業論文」を上げた回答者はごく少なかった。1年生と2年生以上の間で差はほとんどなかった。

表8 勉強全般の中で力を入れて欲しいこと（学年別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
学部の専門的な勉強	22	21	43	0.51
社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強	25	27	53	0.63
幅広い教養を身につける勉強	23	22	47	0.56
ゼミや卒業論文	1	2	3	0.04
合計	71	72	146	

英語・海外体験について： 全体としては、「コミュニケーションのための英語の勉強」が50%以上で多かった。ただし、2年生以降ではこれが減少し、「テスト（TOEFL、TOEIC等）のための英語の勉強」、「留学などの海外体験」が増加した。

表9 英語・海外体験学修の中で力を入れて欲しいこと（学年別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
コミュニケーションのための英語の勉強	28	19	49	0.58
テスト（TOEFL、TOEIC等）のための英語の勉強	11	16	28	0.33
留学などの海外体験	7	10	17	0.20
合計	46	45	94	

卒業後の準備について： 「将来の進路や生き方を考えること」、「就職に役立つ知識やスキルを身につけること」が50%以上で、「業種や企業の実態を知ること」を除く他の選択肢で概ね回答数が多かった。1年生に比べ2年生以上では、「就職に役立つ知識やスキルを身につける」が増え、「公務員などの試験対策準備」、「資格取得のための勉強」は大きく減少した。

表10 卒業後の準備の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
将来の進路や生き方を考えること	24	25	49	0.58
就職に役立つ知識やスキルを身につけること	21	24	46	0.55
資格取得のための勉強	22	16	40	0.48
社会人として長く働いていくための知識やスキル	17	19	38	0.45
公務員などの試験対策準備	23	10	35	0.42
業種や企業の実態を知ること	10	10	21	0.25
合計	117	104	229	

課外活動について：全体としては、「社会活動（ボランティア、NPO等）」が多く、「読書」が少なかった。2年生以上になると、「社会活動（ボランティア、NPO等）」が増加し、「アルバイト」が減少した。

表11 課外活動の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
サークル活動	17	15	32	0.38
アルバイト	13	8	22	0.26
社会活動（ボランティア、NPO等）	18	23	41	0.49
読書	8	6	14	0.17
合計	56	52	109	

対人交流その他：「友だちとの交流や対話」、「教職員との交流や対話」、「学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること」が50%以上で高かった。学年進行による変化は顕著ではなかった。その他の自由記述で、「高い志を持っての入学。強い意志を持ってほしい」、「将来について考え、進路支援等を通じて充実した4年間を過ごせるよう指導をお願いします」、「自立するために自ら進んで行動する力を身につけてほしい」、「私立の特色を生かした取組を期待する」との記載があった。

表12 対人交流その他の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
友だちとの交流や対話	25	23	50	0.60
教職員との交流や対話	25	25	51	0.61
OGやOB、大学外の社会人との交流	16	13	30	0.36
学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること	25	22	47	0.56
合計	56	52	109	

3.4 もし、身近に4年制大学への希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか

「勧めたい」が65%で多く、「勧めたくない」はほとんどいなかったが、無回答が1割近くいることには留意する必要がある。学年別でみると、2年生以上で「分からない」が減少し、「勧めたい」が増加していた。ここでは、「3歳下の兄弟へ勧めたい」との記載があった。

表13 身近な4年制大学希望者に本学を勧めたいか（学年別別集計、択一回答）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
勧めたい	22	31	55	0.65
勧めたくない	0	1	1	0.01
分からない	13	7	21	0.25
合計	35	39	77	

3. 5 本学及び学部の教育内容等に対する意見、要望等があれば書いてください

上記の自由記述の間では、29件の記載があった。これらを本学・学部に関する評価にあたる意見と要望に分け、また1年時と2年生以降に分けて整理した。評価では、学年に関係なく、「細やかで手厚い教育」と要約できる意見が5件、「早期の修学相談会・面談」を支持する意見2件が目立つものであった。批判的な評価として、「情報発信が少ない」との意見があった。

要望では、さまざまな「情報発信・アピール」を求める意見3件、「資格」関係のさまざまな要望3件が目立つものであった。また、「人のことを想える人間の育成」、「やる気を引き出す教育」、「教員の活躍・経歴・実績等も伝え学生の励みにする」といった、全人教育に係る意見も多かった。「情報発信・アピール」を要望する声は、「情報発信が少ない」との批判的な評価と同義であり、本学の弱点を指摘して頂けたものとする。

表14 本学及び学部の教育内容等に対する自由記述回答（、括弧内の数字は類似の意見の数）

	評価	要望
1年生	手厚い指導・支援(2) 早い時期からの修学相談会・面談(2) 資格取得のための各講座開設 学生の夢が叶える教育 就職率の高さ 情報発信が少ない	少人数の良さをアピールする 学生の活動を広報する やる気を引き出す教育 資格教育の受け付けの説明を早めに 教員の活躍・経歴・実績等も伝える 安心して勉学に励むことができる環境 成績・出席状況を見られるパスワード 学食の充実
2年生～	丁寧な指導と細やかな指導・対応(3) 落ち着いた環境	卒業までの流れの広報 資格のための講座の増加 資格・試験のための学習を入学直後に案内 実習教育の充実 人のことを想える人間の育成教育 大学の考えが明確な教育を 入学時以外でも奨学金等の機会を サークル室の確保

4. まとめ

「大学・学部への満足度」や「本学を他の4年制大学進学希望者に勧めたいか」の間に対して、ポジティブな回答が多く、かつ2年生以上でそれが増加していたのは、本学が理解されるに従い、その教育内容や姿勢への支持が増加することを示している。

本学の情報提供に対する満足度が高くなかった点には、最大限の留意が必要である。自由記載

の間で唯一あったネガティブな評価が「情報発信が少ない」であったことや、要望で「情報発信・アピール」を求める意見が多かったことも軌を一にする。求められる情報はさまざまであるが、回答からは、入学前の大学に関する情報、学生への学修情報、大学での学修にかんする保護者への情報の提供などが不足していると感じられているものと推量できる。

本学が充実すべき事項で「就職支援」を求める意見が最も多かったことと、発信すべき情報では「就職情報」を求める意見が最も多かったこと、「卒業後の準備の中で力を入れて欲しいこと」として「将来の進路や生き方を考えること」、「就職に役立つ知識やスキルを身につけること」を求める意見が多かったことなどは、就職が保護者の最大の関心事であることを示しており、この点は本学の重点施策と一致している。また、他の調査で、受験生が本学を進学先として検討することとなった最大の理由が、その高い就職率にあることとも整合している。ただし、一方では、「キャリア教育」や「業種や企業の実態を知ること」、「社会人との交流」などを求める声は多くはなかったことから、現代の大学教育の中で特に社会人・職業人としての意識の涵養を重視していることを理解してもらうための説明が不足していると考ええる。

上記のように就職に焦点を置くと同時に、「教養を高めるための教育」、「専門性を高めるための教育」を重視する意見も多く、保護者は子女に対して「社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強」、「幅広い教養を身につける勉強」、「学部での専門的な勉強」を強く求めており、自由記述でも「全人的教育」を求める声があり、就職という実利的成果ばかりでなく、大学卒業者としての広範な能力の獲得を望んでいることも明らかである。ここでも、「卒業論文」を支持する声が極めて少ない点は、これが研究の成果を追求するものと誤解され、大学での学修を統合化し各種の課題を自ら解決する能力の涵養を目指した総合教育科目であることの説明が不足しているためであろうと推量する。

キャリア教育を重要とする意見が少なかったのは、現在の保護者の世代にはこの語が理解されにくいことが理由の一つである可能性がある。社会人との交流を重視する意見が少なかったことも、インターンシップ等を重視する現代の大学教育が十分に理解されていないことが原因の一つである可能性がある。これらを重視しないことは、大学側にとっては、「就職」や「将来の進路や生き方を考える」ことを重視する今回の調査結果とは相反するものと映るが、今後、本学の教育姿勢に関する懇切な説明と保護者との意見交換を続けていくことと、アンケート内容及びそこの言葉遣いにも改善が必要であると考ええる。

平成 29 年 5 月 27 日

平成 29 年度 志學館大学保護者アンケート

志學館大学では、保護者の皆様が本学の運営、教育等についてどのように感じ、またどのような要望をお持ちなのかを把握し、それらを今後の大学運営に活用したいと考えております。

つきましては、下記の質問について、ご回答いただきますようお願いいたします。

お子様は？ (人間関係 ・ 法) 学部 () 年
あなたは学生の ①父親 ②母親 ③その他

1. 現時点で、保護者としてどの程度満足していますか。

それぞれ当てはまる数字に1つ○をつけてください。

(1) 大学について

①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

(2) 学部について

①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

2. 本学が、今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。

当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

- ① 就職支援
- ② 学生の教養を高めるための教育
- ③ 学生の専門性を高めるための教育
- ④ 学生の英語力を高めるための教育
- ⑤ キャリア教育
- ⑥ 国際交流活動
- ⑦ 学生のコンピュータ能力を高めるための教育
- ⑧ 学生生活に対する支援(奨学金・サークル活動等)
- ⑨ 大学のスポーツ活動
- ⑩ 公開講座等の生涯学習教育
- ⑪ 広報活動
- ⑫ 教育の研究活動
- ⑬ 施設・設備
- ⑭ その他 ()

3. 本学の情報発信についてお伺いします。

(1) 本学からの情報提供に満足していますか。当てはまる数字に1つ○をつけてください。

- ①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

(2) どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか。

当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

- ① 就職に関する情報
② 学習成果に関する情報
③ 教育内容に関する情報
④ 大学全般に関する情報
⑤ 経済的支援に関する情報
⑥ 大学の経営状況に関する情報
⑦ サークル・学生活動に関する情報
⑧ その他 ()

4. 保護者としてお子様に学生生活の中で力を入れてほしいことは何ですか。

(1) ~ (6) のそれぞれ当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

(1) 勉強全般について

- ① 学部の専門的な勉強 ② 社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強
③ 幅広い教養を身につける勉強 ④ ゼミや卒業論文

(2) 英語・海外体験について

- ① コミュニケーションのための英語の勉強
② テスト (TOEFL、TOEIC 等) のための英語の勉強
③ 留学などの海外体験

(3) 卒業後の準備について

- ① 将来の進路や生き方を考えること
② 就職に役立つ知識やスキルを身につけること
③ 資格取得のための勉強
④ 社会人として長く働いていくための知識やスキルの勉強
⑤ 公務員などの試験対策準備
⑥ 業種や企業の実態を知ること

(4) 課外活動について

- ① サークル活動 ② アルバイト ③ 社会活動（ボランティア、NPO等） ④ 読書

(5) 対人交流について

- ① 友だちとの交流や対話
② 教職員との交流や対話
③ OGやOB、大学外の社会人との交流

(6) その他

- ① 学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること
② その他（自由記述）

5. もし、身近に4年制大学への希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。当てはまる数字に1つ○をつけてください。

- ① 勧めたい ② 勧めたくない ③ 分からない

6. その他、本学及び学部の教育内容等に対してのご意見、ご要望等があればお書きください。

ご記入いただいたアンケートは、総会会場または一階の回収箱にて回収いたします。
ご協力ありがとうございました。